

岡山県統計調査登録番号第148号

本調査は、統計法（平成19年法律第53号）に基づき岡山県が実施する重要な統計調査です。

介護福祉士の就労に関する意識調査

アンケート調査へのご協力をお願い

実施主体：岡山県・岡山県福祉人材センター
協力機関：一般社団法人 岡山県介護福祉士会
公立大学法人 岡山県立大学

各位

平素より、本会の事業に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、福祉人材センターでは、人材確保・育成・定着に向けた体制構築支援等に取り組んでいるところですが、依然、福祉を支える人材不足が深刻な状況で、志をもって福祉職を選択した人たちが、力を発揮し、やりがいを感じながら、自らのキャリアを描き、働き続けることのできる魅力ある職場環境の整備が求められています。

このたび、今後の福祉・介護人材の定着支援に関する施策につなげるとともに、離職した介護人材に対する再就職支援の基礎資料として活用するため、標記の調査を実施することになりました。

つきましては、介護福祉士として県内福祉・介護サービス事業所に勤務している方々に調査へのご協力をお願い申し上げる次第です。

ご多忙のところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご回答くださいますようお願い申し上げます。

なお、調査結果につきましては、当センターのホームページ等で公表する予定です。

◆ご記入にあたって◆

1. 回答は、各質問に数字を記入、または当てはまる選択肢の番号に○をつけてください。
また、その他を選んだ場合は（ ）内に具体的に記入願います。
2. 調査票にご記入のうえ、6月24日（月）までに、個別封筒に入れ密封後所属事業所へご提出ください。調査票は、所属事業所がとりまとめ返信用封筒を利用し当センター宛てに返送されます。
3. ご回答いただいた内容は、統計的な処理を行いますので、回答者が特定されることはありません。また、この調査の目的以外に使用することはありません。
4. ご回答いただくうえで不明な点等がございましたら、下記までお問い合わせください。

◆問い合わせ先◆

岡山県福祉人材センター
（社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会 福祉支援部 福祉人材支援班） 担当：中島
TEL：086-226-2888
E-Mail：jinzaicenter@fukushiokayama.or.jp

令和6年度 介護福祉士等の就労に関する意識調査

岡山県統計調査登録番号第148号

本調査は、統計法（平成19年法律第53号）に基づき岡山県が実施する重要な統計調査です。

1. 調査目的

県内福祉・介護サービス事業所に勤務している介護福祉士等にアンケート調査を実施し、やりがいや悩み等をお聞かせいただき、その理由を探究することにより、今後の福祉・介護人材の定着支援に関する施策につなげるとともに、離職した介護人材に対する再就職支援の基礎資料として活用する。

また、少子高齢化の進行に伴い福祉サービスの利用ニーズは増加している状況にある中、福祉の職場ではサービスを提供する人材の確保が緊急の課題となっている。このような状況をふまえ、県内の法人・企業における人材の確保・定着に関する現状を把握し、課題等を明らかにすることで、岡山県および岡山県福祉人材センターと福祉施設・事業所、並びに関係機関が共通した認識を持ち、より効果的な対策等を進めることができるよう本調査を実施する。

2. 実施主体

岡山県・岡山県福祉人材センター（社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会）

3. 協力

一般社団法人 岡山県介護福祉士会 ・ 公立大学法人 岡山県立大学

4. 対象・方法

調査対象施設

岡山県内の福祉・介護事業所（高齢・障害分野） 1,733 事業所

調査対象者

- ① 介護福祉士（3名） ※できれば離職・転職・復職経験のある方
- ② 介護福祉士資格を持たない介護職員（1名）
- ③ 採用担当者（1名）

調査の方法

県内の福祉・介護事業所へ上記①～③対象者別の調査票と個別封筒、返信用封筒を郵送し、各事業所から対象者へ調査票と個別封筒を配布いただく。対象者は、調査票を記入し個別封筒に封入後、事業所へ提出する。事業所は、上記①を3票、②を1票、③を1票とりまとめ、期日までに岡山県社会福祉協議会へ返送する。

5. 提出期限

《調査対象者》

令和6年6月24日（月） 個別封筒に入れた調査票を事業所へ提出

《各事業所》

令和6年6月30日（日）※必着※ 返信用封筒を利用し、岡山県福祉人材センター宛てに返送

6. 分析及び結果の公表

集計、分析は速やかに行い、結果の公表は12月頃に岡山県福祉人材センターが行う。

7. 提出・問合せ先

岡山県福祉人材センター（社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会） 担当：中島
〒700-0807 岡山市北区南方2-13-1 きらめきプラザ内
TEL 086-226-2888 FAX 086-226-3557

介護福祉士の就労に関する意識調査 調査票

■あなたの基本属性について教えてください。

問 1. あなたの性別と年齢（令和 6 年 6 月 1 日現在）をお答えください。
当てはまる番号 1 つに○をつけて、年齢をご記入ください。

1. 男	2. 女	3. その他	満（ ）歳
------	------	--------	-------

問 2. あなたの最終学歴（中途退学の場合は、その前の学歴）をお答えください。（○は 1 つ）

1. 中学卒業	2. 高校卒業	3. 専門学校卒業	4. 短期大学卒業
5. 四年制大学卒業	6. 大学院修了	7. その他（ ）	

問 3. 介護福祉士以外で、あなたが現在お持ちの資格等を、以下から選んでください。（○はいくつでも）

1. 介護職員実務者研修修了	10. 保健師
2. 介護職員初任者研修修了	11. 社会福祉主事
3. ホームヘルパー1 級	12. 認定介護福祉士
4. ホームヘルパー2 級	13. 理学療法士
5. 社会福祉士	14. 作業療法士
6. 精神保健福祉士	15. 言語聴覚士
7. 介護支援専門員	16. 保育士
8. 看護師	17. これら以外（ ）
9. 准看護師	

問 4. **介護福祉士**として介護業務に従事した通算経験年数を教えてください。（他の職場での経験年数・業務も含む）

_____年 _____か月 （令和 6 年 6 月 1 日現在）

問 5. 介護福祉士を取得するまでの介護職員としての就労年数を教えてください。（他の職場での就労年数も含む）

_____年 _____か月 （令和 6 年 6 月 1 日現在）

問 6. あなたの婚姻状況について教えてください。（○は 1 つ）

1. 未婚	2. 既婚	3. その他（ ）
-------	-------	-----------

問 7-1. あなたの子育て・介護状況について教えてください。（○はいくつでも）

1. 子育て中（18 歳未満の子どもを育てている）である	2. 介護の必要な家族がいる
3. その他（ ）	

問 7-2. **上記「問 7-1」で「1」「2」に○をした方にうかがいます。**子育て・介護をする上で、協力してくれる人はいますか。（○は 1 つ）

1. ひとりである	2. 夫婦、その他家族等の協力者がいる
3. その他（ ）	

■あなたの就労状況について教えてください。

問 8. あなたが現在働いている事業所種別はどれですか。
複数職場がある場合も、主な職場を 1 つ選んで○をつけてください。

1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	4. 障害者支援施設
2. 通所介護事業所	5. 障害福祉サービスを行う事業所
3. 認知症対応型共同生活介護事業所（グループホーム）	6. その他（ ）

問 9. あなたの職場の経営主体はどれですか。（○は 1 つ）

1. 社会福祉法人	5. 社団法人
2. 医療法人	6. 特定非営利活動法人（NPO 法人）
3. 県・市町村	7. 営利法人（株式会社・有限会社等）
4. 財団法人	8. その他（ ）

問 10. あなたの主な職種はどれですか。主な職種の番号 1 つに○をつけてください。

1. 介護職員・生活支援員	5. サービス提供責任者・管理責任者
2. 生活相談員・生活指導員	6. 施設長
3. ホームヘルパー	7. 経営者
4. 介護支援専門員（主任介護支援専門員を含む）	8. その他（ ）

問 11. あなたは職場において、どのような立場で仕事をしていますか。（○は 1 つ）

1. 経営者（施設や事業所などを経営する者）	4. 介護職のチームリーダー
2. 施設や事業所などの組織を束ねる管理者	5. 介護職員
3. 係長・主任等のチームリーダー	6. その他（ ）

問 12. あなたの雇用形態はどれですか。（○は 1 つ）

1. 正規職員（正規雇用）	4. 派遣職員（非正規の間接雇用）
2. 契約職員・嘱託職員（非正規の直接雇用）	5. その他（ ）
3. パート・アルバイト（非正規の直接雇用）	

問 13. あなたの **1 週間あたりの超過勤務時間**は、平均して何時間程度ですか。数字をご記入ください。

平均して _____ 時間程度

問 14. あなたの通勤時間（片道）は、何分程度ですか。数字をご記入ください。

片道 _____ 分程度

問 15. あなたの年収について教えてください。（○は 1 つ）

1. 100～199 万円以下	5. 440～499 万円
2. 200～299 万円	6. 500～799 万円
3. 300～399 万円	7. 800 万円以上
4. 400～439 万円	

問 16-1. 職務に関わる研修（職場内・職場外問わない）について、あなたが過去 1 年間に参加した研修回数を教えてください。数字をご記入ください。

過去 1 年間に参加した研修回数（ ）回
※ 過去 1 年間に参加した研修回数がゼロの方は「問 16-4」へ

問 16-2. 参加した職場内研修・職場外研修の回数を教えてください。

職場内研修（ ）回
職場外研修（ ）回

問 16-3. 参加した研修の費用負担について教えてください。

職場が研修費用を負担した（ ）回
自費で研修費用を負担した（ ）回
職場と自費の折半（ ）回
その他（ ）（ ）回

問 16-4. 過去 1 年間に参加した研修回数がゼロの方へうかがいます。

参加していない理由をお聞かせください。（〇は 1 つ）

1. 機会があれば参加したいが、業務的余裕がない（人手不足、マンパワー等）
2. 機会があれば参加したいが、経済的な余裕がない（職場の財政的理由、個人の経済的理由等）
3. 機会があれば参加したいが、研修に関する情報を知らないため参加できない
4. 参加したいと思う研修がない
5. 研修に行くことは考えていない
6. その他（ ）

■あなたの状態について教えてください。

問 17. あなたの状態について、最も当てはまる番号に○をつけてください。

	1: まったくそう思わない 3: ある程度はそう思う	2: あまりそう思わない 4: 非常にそう思う		
1. あなたは、普段、ご自分で健康だと思いますか。	1	2	3	4
2. あなたはどの程度幸せと感じていますか。	1	2	3	4
3. 今の調子でやっていけば、これから起きることにとも対応できる自信がありますか。	1	2	3	4
4. 期待通りの生活水準や社会的地位を手に入れたと思いますか。	1	2	3	4

■あなたの思いについて教えてください。

問 18. あなたは、現在の仕事に満足していますか。（〇は 1 つ）

1. 非常に満足 2. 満足 3. 普通 4. 少し不満 5. 全く不満

問 19. やりがいに感じていることをお聞かせください。

問 20. あなたは介護福祉職を続けようと思いますか。（〇は 1 つ）

1. 強くそう思う 2. そう思う 3. あまり思わない

問 21. これまでの介護福祉の仕事振り返り、心に残る経験や出来事（感動した、嬉しかった、つらかったなど）とその理由を教えてください。

問 22. 離職を思いとどまることができたエピソード（誰から・どんな・なぜ等）をお聞かせください。

例) チューターを担当している新入職員から、私のためにいてくださいと言われた
家族から、大切な仕事だから続けてと認めてもらった
(だれ、どんな、なぜ、以外のこともご自由にお書きください)

問 23. 離職後に介護福祉士として再就職したきっかけをお聞かせください。

(他の人から聞いたことがある内容も含む)

例) 施設長から、手紙で、復職してはどうかと打診された 福祉人材センターから、メールで、求人があることを知らされた
元同僚から、食事会で、A 法人がいいらしいという話を聞いた

問 24. 離職して再就職する場合、どのようなこと、もの、ひと、しくみ、制度などがあればよいと思いますか。

例) 3 日間のお試し就職（報酬あり）

130

1. はい 2. いいえ 3. わからない

1. 給与等が上がった 2. 給与等に変わりはない 3. 給与等のアップはこれからの予定
4. わからない

	① 現在、 職場で取り組まれているもの	② 今後、 充実してほしい・ 必要と思うもの
1. 賃金アップ		
2. 介護職員の増員		
3. 介護職員の職場定着支援		
4. リフト等の福祉機器の導入		
5. ICT機器の導入		
6. 各種制度（有給休暇、産前・産後休暇、配偶者の 出産休暇、育児参加のための休暇、育児休暇・育 児時短勤務、介護休暇等）のルールや取得方法の 周知・サポート		
7. 有給休暇が取得しやすい環境の整備		
8. 休業制度等が取得しやすい環境の整備		
9. 職員の事情等の状況に応じた勤務シフトの導入		
10. 短時間正規職員制度の導入		
11. 超過勤務時間の削減対策		
12. 非正規職員から正規職員への転換制度等の整備		
13. 経験に応じた仕事内容、職責、スキルアップの 機会		
14. 福利厚生の実施		
15. メンタルヘルス等の相談体制の実施（相談窓口 の設置等）		
16. その他（ ）		
17. 特になし		

転職経験 _____ 回 （転職経験がない方は0ゼロの数字をご記入ください）

	【一覧から番号を選ぶ】	勤めた年月	【異動が転職どちらかに〇】	
	施設・事業所の種類 または その他の業種		同一法人内の 事業所に異動 した	別法人 もしくは、 その他の業種 へ転職した
(例) 現在の事業所	12	3 年 10 か月		
(例) ひとつ前の事業所	1	4 年 2 か月		○
(例) 2 つ前の事業所	36	2 年 8 か月	○	
現在の事業所		年 月		
ひとつ前の事業所		年 月		
2 つ前の事業所		年 月		
3 つ前の事業所		年 月		
4 つ前の事業所		年 月		
5 つ前の事業所		年 月		

施設・事業所の種類	その他の業種
1. 介護老人福祉施設	21. 農業、林業
2. 介護老人保健施設	22. 漁業
3. 介護療養型医療施設	23. 鉱業、採石業、砂利採取業
4. 訪問介護事業	24. 建設業
5. 通所介護事業所	25. 製造業
6. 通所リハビリテーション事業所	26. 電気・ガス・熱供給・水道業
7. 短期入所生活介護	27. 情報通信業
8. 短期入所療養介護	28. 運輸業、郵便業
9. 認知症対応型共同生活介護事業所	29. 卸売業・小売業
10. 小規模対機能型居宅介護事業所	30. 金融業・保険業
11. 居宅介護支援事業所	31. 不動産業、物品賃貸業
12. 有料老人ホーム	32. 学術研究、専門・技術サービス業
13. サービス付き高齢者向け住宅	33. 宿泊業、飲食サービス業
14. 地域包括支援センター	34. 生活関連サービス業、娯楽業
15. 障害者総合支援法における介護給付の事業所	35. 教育、学習支援業
16. 共同生活介護（ケアホーム）	36. 医療
17. 訓練等給付の事業所 （自立訓練、就労移行支援、就労継続支援）	37. 複合サービス事業（郵便局、協働組合）
18. 共同生活援助（グループホーム）	38. サービス業（他に分類されないもの）
19. 地域相談支援の事業所 （地域移行支援、地域定着支援）	39. 公務（国家公務、地方公務）
20. その他（保育所等）	40. その他（

■現在の法人（勤務先）への入職についてお尋ねします。

問 30. 現在の法人への入職経路を教えてください。主なもの 1 つに○をつけてください。

1. ハローワーク	9. 個々の事業所の就職説明会
2. 福祉人材センター	10. 事業所のホームページ
3. 民間の求人機関	11. 業界団体主催の合同説明会
4. 人材派遣会社の紹介	12. 都道府県や市町村主催の説明会
5. 前職等の職場の職員や友人の紹介	13. 福祉人材センター主催の就職フェア
6. 新聞の折り込みチラシ	14. ヘッドハンティング（スカウト）
7. 求人・求職情報誌	15. その他（ ）
8. 求人・求職の WEB サイト	

問 31. 現在の法人を選んだ理由について、当てはまる数字をご記入ください。

1 番目の理由	2 番目の理由	3 番目の理由

1. 仕事の内容自体にやりがいを感じた
2. 提示された賃金が良かった
3. 勤務形態が良かった
4. 通勤条件が良かった
5. 職場の上司や先輩から学べることが多いと感じた
6. 同僚クラスの人たちとうまくやっていけると感じた
7. 落ち着いて自分のペースで仕事ができる職場と感じた
8. 職員間の激しい競争がなく楽だと思った
9. 転勤等がなく自分の地元で働き続けることができると感じた
10. 多様な職種や事業所があり、いろいろな仕事キャリアを積む機会があると感じた
11. 法人規模や経営陣の顔ぶれ、事業展開規模から安定した職場と思った
12. 結婚、出産・育児、親族の介護などのライフスタイルに合わせた働き方ができると感じた
13. その事業所で働く職員からの誘いや勧め
14. 家族や友人の勧め
15. その他の理由（ ）

問 32. 現在の法人の組織面について、最も当てはまる番号にひとつずつ○をつけてください。

	1. 全く違う	2. 違う	3. そうである	4. 全くそうである
1. 勤務を代わってもらえることができる	1	2	3	4
2. 公平に勤務が組まれている	1	2	3	4
3. 勤務時間は、規則通り守られている	1	2	3	4
4. 希望する日に休みが取れる	1	2	3	4
5. リフレッシュするため、まとまった休みが取れる	1	2	3	4
6. 十分な職員配置がなされている	1	2	3	4
7. 休憩時間が十分にある	1	2	3	4
8. 仕事を家に持ちかえることは少ない	1	2	3	4
9. 働きやすいように、勤務体制に工夫がされている	1	2	3	4
10. 勤務体制の改善について話し合う機会がある	1	2	3	4
11. 福利厚生が整っている	1	2	3	4

問 33. 現在の法人での様子について、最も当てはまる番号にひとつずつ○をつけてください。

	1. 全くそう思わない	2. そう思わない	3. どちらともいえない	4. そう思う	5. 強くそう思う
1. 仕事ができるときには、それなりの評価を受けている	1	2	3	4	5
2. 職場の人々に親しみを感じている	1	2	3	4	5
3. 今の職場で働くことに満足している	1	2	3	4	5
4. 仕事のことで不安に思うことはない	1	2	3	4	5
5. 経営者は自分のことに関心を持ってくれていると思う	1	2	3	4	5
6. 仕事することはからだの健康にとって良いことだと思う	1	2	3	4	5
7. 給料に満足している	1	2	3	4	5
8. 自分の才能や技術は、すべて仕事にいかされている	1	2	3	4	5
9. 上司との関係はうまくいっている	1	2	3	4	5
10. 仕事の内容に満足している	1	2	3	4	5

■夜間・深夜（午後 10 時から午前 5 時にかかる時間帯）の勤務について

問 34. あなたは、夜間・深夜勤務を行っていますか。

1. 行っている	2. 行っていない	→ 次の質問項目「問 36」へ
----------	-----------	-----------------

問 35-1. 上記で「1. 行っている」と回答した方にうかがいます。

夜間・深夜勤務時間数を教えてください。

1. 16 時間以上	2. 8 時間以上 16 時間未満	3. 8 時間未満
------------	-------------------	-----------

問 35-2. 休憩時間を教えてください。

1. 120 分以上	2. 60 分以上 120 分未満	3. 60 分未満
------------	-------------------	-----------

問 35-3. 夜間・深夜勤務の時間中に休憩は取れていますか。

1. 取れている	2. 取れていない
----------	-----------

問 35-4. 上記で「2. 取れていない」と回答した方にうかがいます。その理由は何ですか。

（○はいくつでも）

1. 1 人夜勤のため職場から離れられないから
2. 電話対応（ナースコール対応含む）をしなければならないから
3. 利用者の対応に追われているから
4. 記録などの事務処理をしなければならないから
5. （終末期の利用者がいるなど）緊急の対応があるから
6. 掃除や洗濯等をしなければならないから
7. その他（ ）

問 35-5. 夜間・深夜勤務を安心・安全に働くためにどのような対策が必要ですか。（○はいくつでも）

1. 夜勤の人数を増やす
2. 休憩時間がとりやすい仕組みを整える
3. 夜勤・深夜勤務時およびその翌日の勤務体制を整える
4. 緊急対策時の体制を整える
5. 無理、無駄、ムラをなくし、業務の効率化を図る
6. 交代制の回数を増やす（2 交代制から 3 交代制に変える等）
7. 介護ロボットや ICT などを活用する
8. その他（ ）

■ひとつ前に勤めていた法人（勤務先）に入職された時のこと、離職された時のこと
（現在の勤務先に至る前まで）についてお尋ねします。
別法人から現在の法人に転職された方のみお答えください。→該当しない方（法人内の異動のみ・
離転職の経験がない）は「問 41」以降について回答してください。

問 36. ひとつ前の法人への入職経路を教えてください。主なもの 1 つに○をつけてください。

1. ハローワーク	9. 個々の事業所の就職説明会
2. 福祉人材センター	10. 事業所のホームページ
3. 民間の求人機関	11. 業界団体主催の合同説明会
4. 人材派遣会社の紹介	12. 都道府県や市町村主催の説明会
5. 前職等の職場の職員や友人の紹介	13. 福祉人材センター主催の就職フェア
6. 新聞の折り込みチラシ	14. ヘッドハンティング（スカウト）
7. 求人・求職情報誌	15. その他（
8. 求人・求職の WEB サイト	）

問 37. ひとつ前の法人を選んだ理由について、当てはまる数字をご記入ください。

1 番目の理由	2 番目の理由	3 番目の理由

1. 仕事の内容自体にやりがいを感じた
2. 提示された賃金が良かった
3. 勤務形態が良かった
4. 通勤条件が良かった
5. 職場の上司や先輩から学べることが多いと感じた
6. 同僚クラスの人たちとうまくやっていけると感じた
7. 落ち着いて自分のペースで仕事ができる職場と感じた
8. 職員間の激しい競争がなく楽だと思った
9. 転勤等がなく自分の地元で働き続けることができると感じた
10. 多様な職種や事業所があり、いろいろな仕事キャリアを積み重ねることができた
11. 法人規模や経営陣の顔ぶれ、事業展開規模から安定した職場と思った
12. 結婚、出産・育児、親族の介護などのライフスタイルに合わせた働き方ができると感じた
13. その事業所で働く職員からの誘いや勧め
14. 家族や友人の勧め
15. その他の理由（
）

問 38. ひとつ前の法人の組織面について、最も当てはまる番号にひとつずつ○をつけてください。

	1. 全く違う	2. 違う	3. そうである	4. 全くそうである
1. 勤務を代わってもらうことができた	1	2	3	4
2. 公平に勤務が組まれていた	1	2	3	4
3. 勤務時間は、規則通り守られていた	1	2	3	4
4. 希望する日に休みが取れた	1	2	3	4
5. リフレッシュするため、まとまった休みが取れた	1	2	3	4
6. 十分な職員配置がなされていた	1	2	3	4
7. 休憩時間が十分にあった	1	2	3	4
8. 仕事を家に持ちかえることは少なかった	1	2	3	4
9. 働きやすいように、勤務体制に工夫がされていた	1	2	3	4
10. 勤務体制の改善について話し合う機会があった	1	2	3	4
11. 福利厚生が整っていた	1	2	3	4

問 39. ひとつ前の法人を辞めた理由についてうかがいます。

1 番目の理由	2 番目の理由	3 番目の理由

1. 仕事の内容自体にやりがいを感じなかった
2. 賃金に不満があった
3. 勤務形態が合わなかった
4. 通勤条件が合わなかった
5. 職場の上司や先輩から学べる機会が少なかった
6. 同僚クラスの人たちとうまくやっていけなかった
7. 落ち着いて自分のペースで仕事ができない職場だった
8. 職員間の激しい競争があり苦痛だった
9. 転勤等があり自分の地元で働き続けることができなかった
10. 多様な職種や事業所がなく、いろいろな仕事キャリアを積み重ねることができなかった
11. 法人規模や経営陣の顔ぶれ、事業展開規模が不安定な職場だった
12. 結婚、出産・育児、親族の介護などのライフスタイルに合わせた働き方ができなかった
13. その他の理由（
）

問 40. ひとつ前の法人での様子について、最も当てはまる番号にひとつずつ○をつけてください。

	1. 全くそう思わない	2. そう思わない	3. どちらともいえない	4. そう思う	5. 強くそう思う
1. 仕事ができるときには、それなりの評価を受けていた	1	2	3	4	5
2. 職場の人々に親しみを感じていた	1	2	3	4	5
3. 今の職場で働くことに満足していた	1	2	3	4	5
4. 仕事のことで不安に思うことはなかった	1	2	3	4	5
5. 経営者は自分のことに関心を持ってくれていると思った	1	2	3	4	5
6. 仕事をするのはからだの健康にとって良いことだと思った	1	2	3	4	5
7. 給料に満足していた	1	2	3	4	5
8. 自分の才能や技術は、すべて仕事にいかされていた	1	2	3	4	5
9. 上司との関係はうまくいっていた	1	2	3	4	5
10. 仕事の内容に満足していた	1	2	3	4	5

■外国人介護職員との協働について

問 41. あなたの外国人介護職員に対するイメージについて、行ごとに、最も当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

迷信深い	1	2	3	4	科学的な
保守的な	1	2	3	4	進歩的な
乱暴な	1	2	3	4	丁寧な
不潔な	1	2	3	4	清潔な
親しみにくい	1	2	3	4	親しみやすい
冷たい	1	2	3	4	温かい
社会的地位の低い	1	2	3	4	社会的地位の高い
信頼できない	1	2	3	4	信頼できる
こわい	1	2	3	4	やさしい
知的でない	1	2	3	4	知的な

問 42. **今のあなたが様々な国の人と一緒に仕事をするとしたら**、どのように対処すると思いますか。
最も当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1:まったくできない	2:あまりできない	3:どちらともいえない	4:まあまあできる	5:かなりできる	
文化、価値観、考えの違いを当然だと受け止められる	1	2	3	4	5
異なる文化のもとでは相手の文化の価値観を尊重し合わせられる	1	2	3	4	5
意見の違いがある時、賛成・反対の判断を保留することができる	1	2	3	4	5
年齢や職位の上下関係にはあまりとらわれない	1	2	3	4	5
多様な価値観があっても行動基準の判断に「公正」を第一に置く	1	2	3	4	5
共同体として世界や地球という視点で物事が考えられる	1	2	3	4	5
人間関係が上手くいかない時、感情的にならず冷静に対応できる	1	2	3	4	5
反対の意見でも相手の意見を最後まで聞ける	1	2	3	4	5
誤解が生じ失敗しても、冗談を言ったり笑ったりできる	1	2	3	4	5
自国のなじみ深い伝統や文化を尊重する	1	2	3	4	5
考え方の違う人々の間でもリーダーシップをとり企画を進める	1	2	3	4	5
意見の違いがある時、自分と相手の妥協点を探ることができる	1	2	3	4	5
いろいろな言語や文化を学ぶことを重視する	1	2	3	4	5
共通の目標に向かって協力して問題解決できる	1	2	3	4	5

問 43. あなたの勤務先では外国人介護職員が勤務していますか。いずれかに○をつけてください。

1. はい 2. いいえ → これでアンケートは終わりとなります。



上記で「1. はい」と答えた方にうかがいます。

1-1 外国人介護職員が勤務してどれくらい経ちますか。お分りの範囲で教えてください。

年 月 日

1-2 勤務先では外国人介護職員関連の研修がありますか。1つ選んで○をつけてください。

1. あるので参加している 2. あるけど参加していない 3. ない 4. 分からない



上記で「1. あるので参加している」と答えた方にうかがいます。

1-2-1 参加した研修および役に立つと思う研修すべてに○をつけてください。

研修内容	参加した研修	役に立ったと思う研修
外国人介護職員の受け入れ制度		
外国人介護職員の出身地の文化・生活習慣		
外国人介護職員の宗教上の配慮点		
その他（具体的に： ）		
その他（具体的に： ）		

1-2-2 上記のほかに、外国人介護職員と一緒に仕事をする上で必要だと思う研修内容がありましたら、教えてください。（自由記述）

1-3 外国人介護職員との関わりはどの程度ですか。1つ選んで○をつけてください。

1. 直接関わることはない 2. 勤務中たまに関わりがある
3. 勤務中日常的に関わりがある 4. 勤務時間外も関わりがある



上記で「4. 勤務時間外も関わりがある」と答えた方にうかがいます。

1-3-1 関わる頻度はどの程度ですか？1つ選んで○をつけてください。

1. 週1回程度 2. 月1回程度 3. 年に1回程度 4. その他（ ）

1-3-2 関わりの内容は具体的にどのようなものですか？（自由記述）

例）歓迎会、食事会、勉強会、趣味活動、遊びなど

1-4 外国人介護職員と一緒に仕事することは、ご自分にとって何か影響があると思いますか？

1. はい 2. いいえ



上記で「1. はい」と答えた方にうかがいます。

1-4-1 それは、具体的にどのようなものですか、教えてください。（自由記述）

ご協力ありがとうございました。

6月24日（月）までに、個別封筒に入れて、事業所担当者へ提出してください。

岡山県統計調査登録番号第148号

本調査は、統計法（平成19年法律第53号）に基づき岡山県が実施する重要な統計調査です。

介護職員の就労に関する意識調査

アンケート調査へのご協力をお願い

実施主体：岡山県・岡山県福祉人材センター

協力機関：一般社団法人 岡山県介護福祉士会

公立大学法人 岡山県立大学

各位

平素より、本会の事業に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、福祉人材センターでは、人材確保・育成・定着に向けた体制構築支援等に取り組んでいるところですが、依然、福祉を支える人材不足が深刻な状況で、志をもって福祉職を選択した人たちが、力を発揮し、やりがいを感じながら、自らのキャリアを描き、働き続けることのできる魅力ある職場環境の整備が求められています。

このたび、今後の福祉・介護人材の定着支援に関する施策につなげるとともに、離職した介護人材に対する再就職支援の基礎資料として活用するため、標記の調査を実施することになりました。

つきましては、**介護職員**として県内福祉・介護サービス事業所に勤務している方々に調査へのご協力をお願い申し上げます。

ご多忙のところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご回答くださいますようお願い申し上げます。

なお、調査結果につきましては、当センターのホームページ等で公表する予定です。

◆ご記入にあたって◆

1. 回答は、各質問に数字を記入、または当てはまる選択肢の番号に○をつけてください。
また、その他を選んだ場合は（ ）内に具体的に記入願います。
2. 調査票にご記入のうえ、6月24日（月）までに、個別封筒に入れ密封後所属事業所へご提出ください。調査票は、所属事業所がとりまとめ返信用封筒を利用し当センター宛てに返送されます。
3. ご回答いただいた内容は、統計的な処理を行いますので、回答者が特定されることはありません。また、この調査の目的以外に使用することはございません。
4. ご回答いただくうえで不明な点等がございましたら、下記までお問い合わせください。

◆問い合わせ先◆

岡山県福祉人材センター

（社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会 福祉支援部 福祉人材支援班） 担当：中島

T E L : 0 8 6 - 2 2 6 - 2 8 8 8

E-Mail : jinzaicenter@fukushiokayama.or.jp

令和6年度 介護福祉士等の就労に関する意識調査

岡山県統計調査登録番号第148号

本調査は、統計法（平成19年法律第53号）に基づき岡山県が実施する重要な統計調査です。

1. 調査目的

県内福祉・介護サービス事業所に勤務している介護福祉士等にアンケート調査を実施し、やりがいや悩み等をお聞かせいただき、その理由を探究することにより、今後の福祉・介護人材の定着支援に関する施策につなげるとともに、離職した介護人材に対する再就職支援の基礎資料として活用する。

また、少子高齢化の進行に伴い福祉サービスの利用ニーズは増加している状況にある中、福祉の職場ではサービスを提供する人材の確保が緊急の課題となっている。このような状況をふまえ、県内の法人・企業における人材の確保・定着に関する現状を把握し、課題等を明らかにすることで、岡山県および岡山県福祉人材センターと福祉施設・事業所、並びに関係機関が共通した認識を持ち、より効果的な対策等を進めることができるよう本調査を実施する。

2. 実施主体

岡山県・岡山県福祉人材センター（社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会）

3. 協力

一般社団法人 岡山県介護福祉士会 ・ 公立大学法人 岡山県立大学

4. 対象・方法

調査対象施設

岡山県内の福祉・介護事業所（高齢・障害分野） 1,733 事業所

調査対象者

- ① 介護福祉士（3名） ※できれば離職・転職・復職経験のある方
- ② 介護福祉士資格を持たない介護職員（1名）
- ③ 採用担当者（1名）

調査の方法

県内の福祉・介護事業所へ上記①～③対象者別の調査票と個別封筒、返信用封筒を郵送し、各事業所から対象者へ調査票と個別封筒を配布いただく。対象者は、調査票を記入し個別封筒に封入後、事業所へ提出する。事業所は、上記①を3票、②を1票、③を1票とりまとめ、期日までに岡山県社会福祉協議会へ返送する。

5. 提出期限

《調査対象者》

令和6年6月24日（月） 個別封筒に入れた調査票を事業所へ提出

《各事業所》

令和6年6月30日（日）※必着※ 返信用封筒を利用し、岡山県福祉人材センター宛てに返送

6. 分析及び結果の公表

集計、分析は速やかに行い、結果の公表は12月頃に岡山県福祉人材センターが行う。

7. 提出・問合せ先

岡山県福祉人材センター（社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会） 担当：中島

〒700-0807 岡山市北区南方2-13-1 きらめきプラザ内

T E L 0 8 6 - 2 2 6 - 2 8 8 8 F A X 0 8 6 - 2 2 6 - 3 5 5 7

介護職員の就労に関する意識調査 調査票

■あなたの基本属性について教えてください。

問 1. あなたの性別と年齢（令和 6 年 6 月 1 日現在）をお答えください。
当てはまる番号 1 つに○をつけて、年齢をご記入ください。

1. 男	2. 女	3. その他	満（ ）歳
------	------	--------	-------

問 2. あなたの最終学歴（中途退学の場合は、その前の学歴）をお答えください。（○は 1 つ）

1. 中学卒業	2. 高校卒業	3. 専門学校卒業	4. 短期大学卒業
5. 四年制大学卒業	6. 大学院修了	7. その他（ ）	

問 3. 介護福祉職としての通算経験年数を教えてください。（他の職場での経験年数も含む）

_____年 _____か月 （令和 6 年 6 月 1 日現在）

問 4. あなたの婚姻状況について教えてください。（○は 1 つ）

1. 未婚	2. 既婚	3. その他（ ）
-------	-------	-----------

問 5-1. あなたの子育て・介護状況について教えてください。（○はいくつでも）

1. 子育て中（18 歳未満の子どもを育てている）である	2. 介護の必要な家族がいる
3. その他（ ）	

問 5-2. 上記「問 5-1」で「1」「2」に○をした方にうかがいます。子育て・介護をする上で、協力してくれる人はいますか。（○は 1 つ）

1. ひとりで行っている	2. 夫婦、その他家族等の協力者がいる
3. その他（ ）	

■あなたの就労状況について教えてください。

問 6. あなたが現在働いている事業所種別はどれですか。
複数職場がある場合も、主な職場を 1 つ選んで○をつけてください。

1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	4. 障害者支援施設
2. 通所介護事業所	5. 障害福祉サービスを行う事業所
3. 認知症対応型共同生活介護事業所（グループホーム）	6. その他（ ）

問 7. あなたの職場の経営主体はどれですか。（○は 1 つ）

1. 社会福祉法人	5. 社団法人
2. 医療法人	6. 特定非営利活動法人（NPO 法人）
3. 県・市町村	7. 営利法人（株式会社・有限会社等）
4. 財団法人	8. その他（ ）

問 8. あなたの主な職種はどれですか。主な職種の番号 1 つに○をつけてください。

1. 介護職員・生活支援員	5. サービス提供責任者・管理責任者
2. 生活相談員・生活指導員	6. 施設長
3. ホームヘルパー	7. 経営者
4. 介護支援専門員（主任介護支援専門員を含む）	8. その他（ ）

問 9. あなたは職場において、どのような立場で仕事をしていますか。（○は 1 つ）

1. 経営者（施設や事業所などを経営する者）	4. 介護職のチームリーダー
2. 施設や事業所などの組織を束ねる管理者	5. 介護職員
3. 係長・主任等のチームリーダー	6. その他（ ）

問 10. あなたの雇用形態はどれですか。（○は 1 つ）

1. 正規職員（正規雇用）	4. 派遣職員（非正規の間接雇用）
2. 契約職員・嘱託職員（非正規の直接雇用）	5. その他（ ）
3. パート・アルバイト（非正規の直接雇用）	

問 11. あなたの 1 週間あたりの超過勤務時間は、平均して何時間程度ですか。数字をご記入ください。

平均して _____ 時間程度

問 12. あなたの通勤時間（片道）は、何分程度ですか。数字をご記入ください。

片道 _____ 分程度

問 13. あなたの年収について教えてください。（○は 1 つ）

1. 100～199 万円以下	5. 440～499 万円
2. 200～299 万円	6. 500～799 万円
3. 300～399 万円	7. 800 万円以上
4. 400～439 万円	

問 14-1. 職務に関わる研修（職場内・職場外問わない）について、あなたが過去 1 年間に参加した研修回数を教えてください。数字をご記入ください。

過去 1 年間に参加した研修回数（ ）回 ※ 過去 1 年間に参加した研修回数がゼロの方は「問 14-4」へ

問 14-2. 参加した職場内研修・職場外研修の回数を教えてください。

職場内研修（ ）回
職場外研修（ ）回

問 14-3. 参加した研修の費用負担について教えてください。

職場が研修費用を負担した（ ）回
自費で研修費用を負担した（ ）回
職場と自費の折半（ ）回
その他（ ）（ ）回

問 14-4. 過去 1 年間に参加した研修回数がゼロの方へうかがいます。

参加していない理由をお聞かせください。(○は 1 つ)

1. 機会があれば参加したいが、業務的余裕がない(人手不足、マンパワー等)
2. 機会があれば参加したいが、経済的な余裕がない(職場の財政的理由、個人の経済的理由等)
3. 機会があれば参加したいが、研修に関する情報を知らないため参加できない
4. 参加したいと思う研修がない
5. 研修に行くことは考えていない
6. その他 ()

■あなたの状態について教えてください。

問 15.あなたの状態について、最も当てはまる番号に○をつけてください。

	1 : まったくそう思わない	2 : あまりそう思わない	3 : ある程度はそう思う	4 : 非常にそう思う
1. あなたは、普段、ご自分で健康だと思いますか。	1	2	3	4
2. あなたはどの程度幸せと感じていますか。	1	2	3	4
3. 今の調子でやっていけば、これから起きることにでも対応できる自信がありますか。	1	2	3	4
4. 期待通りの生活水準や社会的地位を手に入れたと思いますか。	1	2	3	4

■あなたの思いについて教えてください。

問 16. あなたは、現在の仕事に満足していますか。(○は 1 つ)

1. 非常に満足
2. 満足
3. 普通
4. 少し不満
5. 全く不満

問 17. やりがいに感じていることをお聞かせください。

問 18. あなたは介護福祉職を続けようと思いますか。(○は 1 つ)

1. 強くそう思う
2. そう思う
3. あまり思わない

問 19. これまでの介護福祉の仕事振り返り、心に残る経験や出来事(感動した、嬉しかった、つらかったなど)とその理由を教えてください。

問 20. 離職を思いとどまることができたエピソード(誰から・どんな・なぜ等)をお聞かせください。

例) チューターを担当している新入職員から、私のためにいてくださいと言われた
家族から、大切な仕事だから続けてと認めてもらった
(だれ、どんな、なぜ、以外のこともご自由にお書きください)

問 21. 離職して再就職する場合、どのようなこと、もの、ひと、しくみ、制度などがあればよいと思いますか。

例) 3 日間のお試し就職(報酬あり)

- 145 -

1. はい 2. いいえ 3. わからない

1. 給与等が上がった 2. 給与等に変わりはない 3. 給与等のアップはこれからの予定
4. わからない

	① 現在、 職場で取り組まれて いるもの	② 今後、 充実してほしい・ 必要と思うもの
1. 賃金アップ		
2. 介護職員の増員		
3. 介護職員の職場定着支援		
4. リフト等の福祉機器の導入		
5. I C T 機器の導入		
6. 各種制度（有給休暇、産前・産後休暇、配偶者の 出産休暇、育児参加のための休暇、育児休暇・育 児時短勤務、介護休暇等）のルールや取得方法の 周知・サポート		
7. 有給休暇が取得しやすい環境の整備		
8. 休業制度等が取得しやすい環境の整備		
9. 職員の事情等の状況に応じた勤務シフトの導入		
10. 短時間正規職員制度の導入		
11. 超過勤務時間の削減対策		
12. 非正規職員から正規職員への転換制度等の整備		
13. 経験に応じた仕事内容、職責、スキルアップの 機会		
14. 福利厚生充実		
15. メンタルヘルス等の相談体制の充実（相談窓口 の設置等）		
16. その他（ ）		
17. 特になし		

問 25. 今後、取得したいと考えている資格はありますか。(〇はいくつでも)

1. 介護職員実務者研修 2. 介護職員初任者研修 3. 介護福祉士 4. 社会福祉士 5. 精神保健福祉士 6. 介護支援専門員 7. 看護師 8. 准看護師	9. 保健師 10. 社会福祉主事 11. 理学療法士 12. 作業療法士 13. 言語聴覚士 14. 保育士 15. その他（ ）
---	--

１．勉強をする時間 ２．通学（スクーリング）等の時間の確保 ３．学費 ４．介護や育児などのプライベートのケア ５．適した教育機関	６．職場の理解や協力 ７．家族の理解や協力 ８．その他（ ） ９．ない
--	---

問 27. 福祉人材センター・県社協事業のなかで、①知っている、②利用したことがある、③今後利用したい項目について当てはまるものに○をつけてください。

項 目	① 知っている	② 利用したことがある	③ 今後利用したい
1. 福祉の就職総合フェア			
2. ハローワーク巡回相談			
3. おかやま☆フクシ・カイゴ職場 「すまいる宣言」制度			
4. 介護アシスタント（介護助手）促進事業			
5. 福祉の就職応援・見学バスツアー			
6. 福祉職場インターンシップ			
7. 介護福祉士修学資金貸付制度			
8. 社会福祉士修学資金貸付制度			
9. 介護福祉士実務者研修受講資金貸付制度			
10. 離職した介護人材の再就職準備金貸付制度			
11. 介護分野就職支援金貸付制度			
12. 障害福祉分野就職支援金貸付制度			
13. 福祉系高校修学資金貸付制度			
14. 保育士修学資金貸付制度			
15. 保育士就職準備金貸付制度			
16. 介護の資格届出制度			

■これまでの介護に関する経験や転職等の経験について教えてください。

問 28. 転職経験はありますか。その回数を数字でご記入ください。

転職経験 _____ 回 （転職経験がない方は 0 ゼロの数字をご記入ください）
--

問 29. あなたの勤務先の履歴（仕事のキャリアパス）を直近の 5 回について教えてください。

	【一覧から番号を選ぶ】	勤めた年月	【異動か転職どちらかに○】	
	施設・事業所の種類 または その他の業種		同一法人内の 事業所に異動 した	別法人 もしくは、 その他の業種 へ転職した
(例) 現在の事業所	12	3 年 10 か月	/	/
(例) ひとつ前の事業所	1	4 年 2 か月		○
(例) 2 つ前の事業所	36	2 年 8 か月	○	
現在の事業所		年 月	/	/
ひとつ前の事業所		年 月		
2 つ前の事業所		年 月		
3 つ前の事業所		年 月		
4 つ前の事業所		年 月		
5 つ前の事業所		年 月		

施設・事業所の種類	その他の業種
1. 介護老人福祉施設	21. 農業、林業
2. 介護老人保健施設	22. 漁業
3. 介護療養型医療施設	23. 鉱業、採石業、砂利採取業
4. 訪問介護事業	24. 建設業
5. 通所介護事業所	25. 製造業
6. 通所リハビリテーション事業所	26. 電気・ガス・熱供給・水道業
7. 短期入所生活介護	27. 情報通信業
8. 短期入所療養介護	28. 運輸業、郵便業
9. 認知症対応型共同生活介護事業所	29. 卸売業・小売業
10. 小規模対機能型居宅介護事業所	30. 金融業・保険業
11. 居宅介護支援事業所	31. 不動産業、物品賃貸業
12. 有料老人ホーム	32. 学術研究、専門・技術サービス業
13. サービス付き高齢者向け住宅	33. 宿泊業、飲食サービス業
14. 地域包括支援センター	34. 生活関連サービス業、娯楽業
15. 障害者総合支援法における介護給付の事業所	35. 教育、学習支援業
16. 共同生活介護（ケアホーム）	36. 医療
17. 訓練等給付の事業所 （自立訓練、就労移行支援、就労継続支援）	37. 複合サービス事業（郵便局、協働組合）
18. 共同生活援助（グループホーム）	38. サービス業（他に分類されないもの）
19. 地域相談支援の事業所 （地域移行支援、地域定着支援）	39. 公務（国家公務、地方公務）
20. その他（保育所等）	40. その他（ ）

■現在の法人（勤務先）への入職についてお尋ねします。

問 30. 現在の法人への入職経路を教えてください。主なもの 1 つに○をつけてください。

1. ハローワーク	9. 個々の事業所の就職説明会
2. 福祉人材センター	10. 事業所のホームページ
3. 民間の求人機関	11. 業界団体主催の合同説明会
4. 人材派遣会社の紹介	12. 都道府県や市町村主催の説明会
5. 前職等の職場の職員や友人の紹介	13. 福祉人材センター主催の就職フェア
6. 新聞の折り込みチラシ	14. ヘッドハンティング（スカウト）
7. 求人・求職情報誌	15. その他（ ）
8. 求人・求職の WEB サイト	

問 31. 現在の法人を選んだ理由について、当てはまる数字をご記入ください。

1 番目の理由	2 番目の理由	3 番目の理由

1. 仕事の内容自体にやりがいを感じた
2. 提示された賃金が良かった
3. 勤務形態が良かった
4. 通勤条件が良かった
5. 職場の上司や先輩から学べることが多いと感じた
6. 同僚クラスの人たちとうまくやっていけると感じた
7. 落ち着いて自分のペースで仕事ができる職場と感じた
8. 職員間の激しい競争がなく楽だと思った
9. 転勤等がなく自分の地元に働き続けることができると感じた
10. 多様な職種や事業所があり、いろいろな仕事キャリアを積み重ねることができると感じた
11. 法人規模や経営陣の顔ぶれ、事業展開規模から安定した職場と思った
12. 結婚、出産・育児、親族の介護などのライフスタイルに合わせた働き方ができると感じた
13. その事業所で働く職員からの誘いや勧め
14. 家族や友人の勧め
15. その他の理由（ ）

問 32. 現在の法人の組織面について、最も当てはまる番号にひとつずつ○をつけてください。

	1. 全く違う 2. 違う 3. そうである 4. 全くそうである			
	1	2	3	4
1. 勤務を代わってもらうことができる				
2. 公平に勤務が組まれている				
3. 勤務時間は、規則通り守られている				
4. 希望する日に休みが取れる				
5. リフレッシュするため、まとまった休みが取れる				
6. 十分な職員配置がなされている				
7. 休憩時間が十分にある				
8. 仕事を家に持ちかえることは少ない				
9. 働きやすいように、勤務体制に工夫がされている				
10. 勤務体制の改善について話し合う機会がある				
11. 福利厚生が整っている				

問 33. 現在の法人での様子について、最も当てはまる番号にひとつずつ○をつけてください。

	1.全くそう思わない	2.そう思わない	3.どちらともいえない	4.そう思う	5.強くそう思う
1. 仕事ができるときには、それなりの評価を受けている	1	2	3	4	5
2. 職場の人々に親しみを感じている	1	2	3	4	5
3. 今の職場で働くことに満足している	1	2	3	4	5
4. 仕事のことで不安に思うことはない	1	2	3	4	5
5. 経営者は自分のことに関心を持ってくれていると思う	1	2	3	4	5
6. 仕事をするのはからだの健康にとって良いことだと思う	1	2	3	4	5
7. 給料に満足している	1	2	3	4	5
8. 自分の才能や技術は、すべて仕事にいかされている	1	2	3	4	5
9. 上司との関係はうまくいっている	1	2	3	4	5
10. 仕事の内容に満足している	1	2	3	4	5

■夜間・深夜（午後 10 時から午前 5 時にかかる時間帯）の勤務について

問 34. あなたは、夜間・深夜勤務を行っていますか。

1. 行っている	2. 行っていない → 次の質問項目「問 36」へ
----------	---------------------------

問 35-1. 上記で「1. 行っている」と回答した方にうかがいます。
夜間・深夜勤務時間数を教えてください。

1. 16 時間以上	2. 8 時間以上 16 時間未満	3. 8 時間未満
------------	-------------------	-----------

問 35-2. 休憩時間を教えてください。

1. 120 分以上	2. 60 分以上 120 分未満	3. 60 分未満
------------	-------------------	-----------

問 35-3. 夜間・深夜勤務の時間中に休憩は取れていますか。

1. 取れている	2. 取れていない
----------	-----------

問 35-4. 上記で「2. 取れていない」と回答した方にうかがいます。その理由は何ですか。
(○はいくつでも)

1. 1 人夜勤のため職場から離れられないから 2. 電話対応（ナースコール対応含む）をしなければならないから 3. 利用者の対応に追われているから 4. 記録などの事務処理をしなければならないから 5. （終末期の利用者がいるなど）緊急の対応があるから 6. 掃除や洗濯等をしなければならないから 7. その他（ ）

問 35-5. 夜間・深夜勤務を安心・安全に働くためにどのような対策が必要ですか。(○はいくつでも)

1. 夜勤の人数を増やす 2. 休憩時間がとりやすい仕組みを整える 3. 夜勤・深夜勤務時およびその翌日の勤務体制を整える 4. 緊急対策時の体制を整える 5. 無理、無駄、ムラをなくし、業務の効率化を図る 6. 交代制の回数を増やす（2 交代制から 3 交代制に変える等） 7. 介護ロボットや I C T などを活用する 8. その他（ ）

■ひとつ前に勤めていた法人（勤務先）に入職された時のこと、離職された時のこと
（現在の勤務先に至る前まで）についてお尋ねします。

別法人から現在の法人に転職された方のみお答えください。→該当しない方（法人内の異動のみ・離転職の経験がない）は「問 41」以降について回答してください。

問 36. ひとつ前の法人への入職経路を教えてください。主なもの 1 つに○をつけてください。

1. ハローワーク 2. 福祉人材センター 3. 民間の求人機関 4. 人材派遣会社の紹介 5. 前職等の職場の職員や友人の紹介 6. 新聞の折り込みチラシ 7. 求人・求職情報誌 8. 求人・求職の WEB サイト	9. 個々の事業所の就職説明会 10. 事業所のホームページ 11. 業界団体主催の合同説明会 12. 都道府県や市町村主催の説明会 13. 福祉人材センター主催の就職フェア 14. ヘッドハンティング（スカウト） 15. その他（ ）
---	--

問 37. ひとつ前の法人を**選んだ**理由について、当てはまる数字をご記入ください。

1 番目の理由	2 番目の理由	3 番目の理由

1. 仕事の内容自体にやりがいを感じた 2. 提示された賃金が良かった 3. 勤務形態が良かった 4. 通勤条件が良かった 5. 職場の上司や先輩から学べることが多いと感じた 6. 同僚クラスの人たちとうまくやっていけると感じた 7. 落ち着いて自分のペースで仕事ができる職場と感じた 8. 職員間の激しい競争がなく楽だと思った 9. 転勤等がなく自分の地元で働き続けることができると感じた 10. 多様な職種や事業所があり、いろいろな仕事キャリアを積み重ねることができると感じた 11. 法人規模や経営陣の顔ぶれ、事業展開規模から安定した職場と思った 12. 結婚、出産・育児、親族の介護などのライフスタイルに合わせた働き方ができると感じた 13. その事業所で働く職員からの誘いや勧め 14. 家族や友人の勧め 15. その他の理由（ ）

問 38. ひとつ前の法人の組織面について、最も当てはまる番号にひとつずつ○をつけてください。

	1. 全く違う	2. 違う	3. そうである	4. 全くそうである
1. 勤務を代わってもらうことができた	1	2	3	4
2. 公平に勤務が組まれていた	1	2	3	4
3. 勤務時間は、規則通り守られていた	1	2	3	4
4. 希望する日に休みが取れた	1	2	3	4
5. リフレッシュするため、まとまった休みが取れた	1	2	3	4
6. 十分な職員配置がなされていた	1	2	3	4
7. 休憩時間が十分にあった	1	2	3	4
8. 仕事を家に持ちかえることは少なかった	1	2	3	4
9. 働きやすいように、勤務体制に工夫がされていた	1	2	3	4
10. 勤務体制の改善について話し合う機会があった	1	2	3	4
11. 福利厚生が整っていた	1	2	3	4

問 39. ひとつ前の法人を**辞めた**理由についてうかがいます。

1 番目の理由	2 番目の理由	3 番目の理由

1. 仕事の内容自体にやりがいを感じなかった 2. 賃金に不満があった 3. 勤務形態が合わなかった 4. 通勤条件が合わなかった 5. 職場の上司や先輩から学べることが少なかった 6. 同僚クラスの人たちとうまくやっていけなかった 7. 落ち着いて自分のペースで仕事ができない職場だった 8. 職員間の激しい競争があり苦痛だった 9. 転勤等があり自分の地元で働き続けることができなかった 10. 多様な職種や事業所がなく、いろいろな仕事キャリアを積む機会がなかった 11. 法人規模や経営陣の顔ぶれ、事業展開規模が不安定な職場だった 12. 結婚、出産・育児、親族の介護などのライフスタイルに合わせた働き方ができなかった 13. その他の理由 ()

問 40. ひとつ前の法人での様子について、最も当てはまる番号にひとつずつ○をつけてください。

	1.全くそう思わない	2.そう思わない	3.どちらともいえない	4.そう思う	5.強くそう思う
1. 仕事ができるときには、それなりの評価を受けていた	1	2	3	4	5
2. 職場の人々に親しみを感じていた	1	2	3	4	5
3. 今の職場で働くことに満足していた	1	2	3	4	5
4. 仕事のことで不安に思うことはなかった	1	2	3	4	5
5. 経営者は自分のことに関心を持ってくれていると思った	1	2	3	4	5
6. 仕事をするのはからだの健康にとって良いことだと思った	1	2	3	4	5
7. 給料に満足していた	1	2	3	4	5
8. 自分の才能や技術は、すべて仕事にいかされていた	1	2	3	4	5
9. 上司との関係はうまくいっていた	1	2	3	4	5
10. 仕事の内容に満足していた	1	2	3	4	5

■外国人介護職員との協働について

問 41. あなたの外国人介護職員に対するイメージについて、行ごとに、最も当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

迷信深い	1	2	3	4	科学的な
保守的な	1	2	3	4	進歩的な
乱暴な	1	2	3	4	丁寧な
不潔な	1	2	3	4	清潔な
親しみにくい	1	2	3	4	親しみやすい
冷たい	1	2	3	4	温かい
社会的地位の低い	1	2	3	4	社会的地位の高い
信頼できない	1	2	3	4	信頼できる
こわい	1	2	3	4	やさしい
知的でない	1	2	3	4	知的な

問 42. **今のあなたが様々な国の人と一緒に仕事をするとしたら**、どのように対処すると思いますか。最も当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1：まったくできない	2：あまりできない	3：どちらともいえない	4：まあまあできる	5：かなりできる	
文化、価値観、考えの違いを当然だと受け止められる	1	2	3	4	5
異なる文化のもとでは相手の文化の価値観を尊重し合わせられる	1	2	3	4	5
意見の違いがある時、賛成・反対の判断を保留することができる	1	2	3	4	5
年齢や職位の上下関係にはあまりとらわれない	1	2	3	4	5
多様な価値観があっても行動基準の判断に「公正」を第一に置く	1	2	3	4	5
共同体として世界や地球という視点で物事が考えられる	1	2	3	4	5
人間関係が上手くいかない時、感情的にならず冷静に対応できる	1	2	3	4	5
反対の意見でも相手の意見を最後まで聞ける	1	2	3	4	5
誤解が生じ失敗しても、冗談を言ったり笑ったりできる	1	2	3	4	5
自国のなじみ深い伝統や文化を尊重する	1	2	3	4	5
考え方の違う人々の間でもリーダーシップをとり企画を進める	1	2	3	4	5
意見の違いがある時、自分と相手の妥協点を探ることができる	1	2	3	4	5
いろいろな言語や文化を学ぶことを重視する	1	2	3	4	5
共通の目標に向かって協力して問題解決できる	1	2	3	4	5

149

- ↓

年 月

-

研修内容	参加した研修	役に立ったと思う研修
外国人介護職員の受け入れ制度		
外国人介護職員の出身地の文化・生活習慣		
外国人介護職員の宗教上の配慮点		
その他（具体的に： ）		
その他（具体的に： ）		

- | |
|--|
| |
|--|

- ↓

例) 歓迎会、食事会、勉強会、趣味活動、遊びなど

- ↓

- 13 -

岡山県統計調査登録番号第148号
本調査は、統計法（平成19年法律第53号）に基づき岡山県が実施する重要な統計調査です。

福祉人材の確保・定着に関する調査

アンケート調査へのご協力をお願い

実施主体：岡山県・岡山県福祉人材センター
協力機関：一般社団法人 岡山県介護福祉士会
公立大学法人 岡山県立大学

各位

平素より、本会の事業に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、福祉人材センターでは、人材確保・育成・定着に向けた体制構築支援等に取り組んでいるところですが、少子高齢化の進行に伴い福祉サービスの利用ニーズは増加している状況にある中、福祉の職場ではサービスを提供する人材の確保が緊急の課題となっています。

このような状況をふまえ、県内の福祉施設・事業所における人材の確保・定着に関する現状を把握し、課題等を明らかにすることで、岡山県および岡山県福祉人材センターと福祉施設・事業所、並びに関係機関が共通した認識を持ち、より効果的な対策等を進めることができるよう本調査を実施します。

つきましては、県内福祉・介護サービス事業所の採用担当者に調査へのご協力をお願い申し上げる次第です。

ご多忙のところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご回答くださいますようお願い申し上げます。

なお、調査結果につきましては、当センターのホームページ等で公表する予定です。

◆ご記入にあたって◆

1. この調査票は、法人全体としての回答をご記入ください。同法人他事業所で回答済の場合は、上部項目に☑をして白紙のまま個別封筒にいれご返送ください。

2. 回答は、各質問に数字を記入、または当てはまる選択肢の番号に○をつけてください。
また、その他を選んだ場合は（ ）内に具体的に記入願います。

3. ご記入のうえ、6月24日（月）までに、個別封筒に入れ密封後所属事業所へご提出ください。調査票は、所属事業所がとりまとめ返信用封筒を利用し当センター宛てに返送されます。

4. ご回答いただいた内容は、統計的な処理を行いますので、回答者が特定されることはありません。また、この調査の目的以外に使用することはございません。

5. ご回答いただくうえで不明な点等がございましたら、下記までお問い合わせください。

◆問い合わせ先◆

岡山県福祉人材センター

（社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会 福祉支援部 福祉人材支援班） 担当：中島

TEL：086-226-2888

E-Mail：jinzaicenter@fukushiokayama.or.jp

令和6年度 介護福祉士等の就労に関する意識調査

岡山県統計調査登録番号第148号
本調査は、統計法（平成19年法律第53号）に基づき岡山県が実施する重要な統計調査です。

1. 調査目的
- 県内福祉・介護サービス事業所に勤務している介護福祉士等にアンケート調査を実施し、やりがいや悩み等をお聞かせいただき、その理由を探究することにより、今後の福祉・介護人材の定着支援に関する施策につなげるとともに、離職した介護人材に対する再就職支援の基礎資料として活用する。
- また、少子高齢化の進行に伴い福祉サービスの利用ニーズは増加している状況にある中、福祉の職場ではサービスを提供する人材の確保が緊急の課題となっている。このような状況をふまえ、県内の法人・企業における人材の確保・定着に関する現状を把握し、課題等を明らかにすることで、岡山県および岡山県福祉人材センターと福祉施設・事業所、並びに関係機関が共通した認識を持ち、より効果的な対策等を進めることができるよう本調査を実施する。
2. 実施主体
- 岡山県・岡山県福祉人材センター（社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会）
3. 協力
- 一般社団法人 岡山県介護福祉士会 ・ 公立大学法人 岡山県立大学
4. 対象・方法
- 調査対象施設
- 岡山県内の福祉・介護事業所（高齢・障害分野） 1,733 事業所
- 調査対象者
- ① 介護福祉士（3名） ※できれば離職・転職・復職経験のある方
- ② 介護福祉士資格を持たない介護職員（1名）
- ③ 採用担当者（1名）
- 調査の方法
- 県内の福祉・介護事業所へ上記①～③対象者別の調査票と個別封筒、返信用封筒を郵送し、各事業所から対象者へ調査票と個別封筒を配布いただく。対象者は、調査票を記入し個別封筒に封入後、事業所へ提出する。事業所は、上記①を3票、②を1票、③を1票とりまとめ、期日までに岡山県社会福祉協議会へ返送する。
5. 提出期限
- 《調査対象者》
- 令和6年6月24日（月） 個別封筒に入れた調査票を事業所へ提出
- 《各事業所》
- 令和6年6月30日（日）※必着※ 返信用封筒を利用し、岡山県福祉人材センター宛てに返送
6. 分析及び結果の公表
- 集計、分析は速やかに行い、結果の公表は12月頃に岡山県福祉人材センターが行う。
7. 提出・問合せ先
- 岡山県福祉人材センター（社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会） 担当：中島
- 〒700-0807 岡山市北区南方2-13-1 きらめきプラザ内
- TEL 086-226-2888 FAX 086-226-3557

福祉人材の確保・定着に関する調査

- 法人内に複数事業所がある場合、法人全体のことをご記入ください。
- お手元に2通以上の調査票が届いた場合は、1通にご記入いただき、2通目以降は、下記に☑をして白紙のまま個別封筒に入れご返送ください。

☐ 同法人他事業所で回答済のため白紙で返送します

法人・回答者の概要について（各問について、いずれか1つに○）

【問1】開設法人種別

1. 社会福祉法人	5. 社団法人
2. 医療法人	6. 特定非営利活動法人（NPO法人）
3. 県・市町村	7. 営利法人（株式会社・有限会社等）
4. 財団法人	8. その他（ ）

【問2】開設法人・企業の単独収益規模（グループ、関連法人は含まない）

1. 1億円未満	5. 5億円以上10億円未満
2. 1億円以上2億円未満	6. 10億円以上20億円未満
3. 2億円以上3億円未満	7. 20億円以上30億円未満
4. 3億円以上5億円未満	8. 30億円以上

【問3】回答者の属性

1. 経営者（役員）	2. 人事採用担当者	3. 施設長・管理者	4. その他（ ）
------------	------------	------------	-----------

【問4】回答者の年齢

1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代	4. 50歳代	5. 60歳代
6. その他（ ）				

【問5】回答者の性別

1. 男性	2. 女性	3. 無回答
-------	-------	--------

【問6】採用に関わる職員数（ご自身を含めて数字を記入）

 名

【問7】採用業務を専任として担っている職員はいますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

【問8】1年間の採用活動費・広報活動費について（担当者の人件費を除く）

1. 活動費はない	4. 100万円以上200万円未満
2. 50万円未満	5. 200万円以上
3. 50万円以上100万円未満	

求職・採用者について

【問9】2023年度の介護職員の採用者総数（中途・転職者）（該当項目に人数を記入）

雇 用 形 態	中途・転職者の採用人数
正規職員	名
契約職員・嘱託職員	名
パート・アルバイト	名
派遣職員	名
その他（ ）	名

【問10】2023年度の介護職員の採用者総数（新規卒卒者、第2新卒者）

雇 用 形 態	新卒・第2新卒の採用人数
正規職員	名
契約職員・嘱託職員	名
パート・アルバイト	名
派遣職員	名
その他（ ）	名

【問11-1】中途・転職者の採用ルートについて（○はいくつでも可）

＜窓口・サイト＞ 1. ハローワーク 2. 福祉人材センター 3. 人材派遣会社 4. 転職サイト	＜就職相談会＞ 5. 業界団体主催の合同説明会 6. 都道府県や市町村主催の説明会 7. 福祉人材センター主催の就職フェア ＜その他＞ 8. ヘッドハンティング（スカウト） 9. その他（ ）
---	--

【問 11-2】上記で「4. 転職サイト」と回答された方へうかがいます。どの転職サイトですか。

(自由記述)

【問 12-1】新規学卒者、第2新卒者の採用ルートについて（○はいくつでも可）

＜窓口・サイト＞	＜就職相談会＞
1. ハローワーク	5. 業界団体主催の合同説明会
2. 福祉人材センター	6. 都道府県や市町村主催の説明会
3. 人材派遣会社	7. 福祉人材センター主催の就職フェア
4. 民間求人サイト	
	＜その他＞
	8. ヘッドハンティング（スカウト）
	9. その他（ ）

【問 12-2】上記で「4. 民間求人サイト」と回答された方へうかがいます。どの求人サイトですか。

(自由記述)

【問 13】2025年4月の介護職員の新規学卒採用予定者数について（1つに○）

1. 介護職員の新規学卒採用予定者数が決まっている 2. 未定である

【問 14】上記で「1. 介護職員の新規学卒採用予定者数が決まっている」と回答された方にうかがいます。2025年4月の介護職員の新規学卒採用予定者数を教えてください。

（該当項目に人数を記入）

雇 用 形 態	2025 年 4 月 新規学卒採用予定者数
正規職員	名
契約職員・嘱託職員	名
パート・アルバイト	名
派遣職員	名
その他 （ ）	名

【問 15】2025年4月のその他（介護職員以外）の新規学卒採用予定者数

1. その他（介護職員以外）の新規学卒採用予定者数が決まっている 2. 未定である

【問 16】上記で「1. その他（介護職員以外）の新規学卒採用予定者数が決まっている」と回答された方にうかがいます。

2025年4月のその他（介護職員以外）の新規学卒採用予定者数を教えてください。

職 名 (介護職員以外の職種を記入)	雇 用 形 態 (該当項目1つに○)	2025 年 4 月 その他の職種の 新規学卒採用予定者数
	① 正規職員 ② 契約職員、嘱託職員 ③ パート、アルバイト ④ 派遣職員 ⑤ その他（ ）	名
	① 正規職員 ② 契約職員、嘱託職員 ③ パート、アルバイト ④ 派遣職員 ⑤ その他（ ）	名
	① 正規職員 ② 契約職員、嘱託職員 ③ パート、アルバイト ④ 派遣職員 ⑤ その他（ ）	名
	① 正規職員 ② 契約職員、嘱託職員 ③ パート、アルバイト ④ 派遣職員 ⑤ その他（ ）	名
	① 正規職員 ② 契約職員、嘱託職員 ③ パート、アルバイト ④ 派遣職員 ⑤ その他（ ）	名
	① 正規職員 ② 契約職員、嘱託職員 ③ パート、アルバイト ④ 派遣職員 ⑤ その他（ ）	名

2023年度の介護職員の離職者について

【問 17】2023年度の介護職員の離職者総数について（該当項目に人数を記入）

雇 用 形 態	介護職員の 離職人数
正規職員	名
契約職員・嘱託職員	名
パート・アルバイト	名
派遣職員	名
その他（ ）	名

【問 18】離職理由について採用担当者が得ている情報（該当項目に人数を記入）

離 職 理 由	人 数
転職	名
結婚	名
出産	名
子育て	名
家族等の転勤	名
給与等の待遇面	名
仕事・業務内容が合っていなかった	名
人間関係	名
その他（ ）	名

採用説明会（就職フェア等）について

【問 19】採用説明会（就職フェア等）時に採用担当者から求職者へ伝えている内容について（〇はいくつでも可）

1. 法人・サービスの理念	6. 休日など
2. 施設・事業所の特色	7. 福利厚生
3. 職員の人数や性別	8. 法人内の研修体制
4. 求人職種の業務内容	9. 入職後のフォロー体制
5. 給与、資格手当等	10. その他（ ）

【問 20】採用面接時に採用担当者から求職者へ伝えている内容について（〇はいくつでも可）

1. 法人・サービスの理念	6. 休日など
2. 施設・事業所の特色	7. 福利厚生
3. 職員の人数や性別	8. 法人内の研修体制
4. 求人職種の業務内容	9. 入職後のフォロー体制
5. 給与、資格手当等	10. その他（ ）

【問 21】採用説明会（就職フェア等）時に採用担当者が求職者からよく質問されること（自由記述）

【問 22】採用面接時に採用担当者が求職者からよく質問されること（自由記述）

求職者への情報発信・接触機会について

【問 23】求人情報以外に法人、施設・事業所の情報を発信していますか。（1つに〇）

1. 発信している 2. 発信していない⇒【問 25】へ

【問 24】上記で「1. 発信している」と回答された方にうかがいます。

どのような媒体で法人・施設などの活動を発信していますか。（〇はいくつでも可）

1. 広報誌	7. LINE
2. パンフレット	8. X（旧：Twitter）
3. ホームページ	9. YouTube
4. ブログ	10. TikTok
5. Facebook	11. その他（ ）
6. Instagram	

【問 25】求職者との接触機会をもたれていますか。（1つに〇）

1. 求職者との接触の機会をもっている 2. 求職者との接触の機会をもっていない⇒【問 27】へ

【問 26】上記で「1. 求職者との接触の機会をもっている」と回答された方にうかがいます。

どのように接触機会をもたれていますか。（〇はいくつでも可）

1. 個別説明会	5. 見学会、体験会の開催
2. 合同就職説明会（就職フェア等）	6. 大学（生）や高校（生）との共同活動
3. インターンシップ	7. その他（ ）
4. 実習受入	

県や自治体の取り組みについて

【問27】法人、施設・事業所の採用活動において、県や自治体に協力・支援してほしいことはありますか。

1. ある 2. ない ⇨ 【問29】へ



【問28】上記で「ある」と回答した方へうかがいます。どのようなことに協力・支援が必要ですか。
前向きなご意見、理想像についてご自由にご記入ください。

【問29】法人、施設・事業所の採用活動において、岡山県福祉人材センターに協力・支援してほしいことはありますか。

1. ある 2. ない



【問30】上記で「ある」と回答した方へうかがいます。どのようなことに協力・支援が必要ですか。
前向きなご意見、理想像についてご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

6月24日（月）までに、個別封筒に入れて、事業所担当者へ提出してください。